

## 大学祭開催のためのガイドライン（第 2 版）

### 1. はじめに

本ガイドラインは「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を受けて、大学祭を開催するにあたっての基準や、大学祭当日の感染拡大予防のための留意点について、大学の方針に従い制定したものである。ガイドラインについては、随時見直すことがある。

### 2. 感染防止のための基本的な考え方

使用する教室、ステージにおいて、大学祭実行委員は規模や使用方法を十分に踏まえ、下記の三者への新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、対策を講じる。

- ① 大学祭の運営に従事する者（以下「実行委員」という。）
- ② 大学祭のために大学に来場する者(以下「来場者」という。)
- ③ 出演者及び大学祭の開催に携わる者（実行委員を除く。以下「関係者」という。）

特に、密閉空間（換気の悪い場所）、密集場所（多人数が集まる場所）、密接場面（間近で会話や発声が行われる）という 3 つの条件が重なる場所（2020 年 3 月 19 日、政府専門家会議にて提言された「三つの密」）が、感染を拡大させるリスクが高いと考えられるため、感染対策に取り組む際は、三つの密に十分注意する。

### 3. 実行委員、関係者が講ずる具体的な対策

#### （1） 大学内の各所における対応策

##### ① 大学構内共通

- 来場者には、マスク着用が必須であると事前に周知する。
- 列などを作る際には十分な間隔（最低 1 m）を空けるよう案内し、カラーテープで間隔の目印を貼るなど、人が密集しないよう努める。
- 大学祭当日は、施設内のドアノブや手すり、ステージ観覧用の椅子など、不特定多数が触れやすい場所の消毒を定期的に行う。なお、消毒液は、当該場所に最適なものを用いるようにする。（以下、消毒に関する記載において同じ）
- 1 時間に 1 回以上、こまめな手洗い・手指の消毒を励行する。

- 教室は、ドア・窓の開放など可能な方法を用いて適切な換気を行う。
- 大学構内での食事は、長時間マスクを外すことが想定され、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、禁止とする。
- 来場者には新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)をインストールしていただくよう事前に周知する。

② 入口(正門付近)

- 入場の際には、来場者に検温の協力をお願いする。37.5°C以上の熱が確認された際には入場をお断りすることを事前に周知する。
- 入場は事前予約制とする。
- こまめな手洗い、手指の消毒を励行するとともに、会場入口に手指消毒用の消毒液を設置する。
- 入場時の密集を避けるべく、事前予約の来場者は入場時間を事前に指定する。

③ 客席(ステージ前)

- 客席に置くテーブル、椅子は十分な間隔(最低 1m)をあけて設置する。
- 場内における大声での声援は行わないことを徹底し、拍手のみとしていただくよう周知する。大声を出す方がいた場合、実行委員が個別に注意を行う。
- 舞台端と観客の最前列までは、最低 2m を確保する。それが困難な場合には、舞台と最前列の来場者との間に飛沫を防ぐためのビニール幕等を設置するなど、距離を置くことと同等の効果を有する措置を講ずる。
- 客席のテーブル、椅子は来場者が入れ替わる度に消毒を行う。
- キャンパス内は飲食禁止であることをアナウンスする。

④ トイレ

- 不特定多数が触れる場所は、定期的に清掃・消毒を行う。
- トイレで列を作る際には、カラーテープで間隔の目印を貼り、十分な間隔(最低 1m)を空けるよう案内する。

⑤ 模擬店

模擬店に関しては、別途運営部が指定するガイドラインの遵守をもって、感染対策とする。

⑥ 控室(教室)

- ドア、窓の開放など、可能な方法を用いて適切な換気を行う。
- マスクを常時着用する。来場者との対面においては、フェイスシールドを着用する。

■十分な間隔（1 m 以上）を空けるように心がける。

⑦ 清掃・ゴミの廃棄

■清掃やゴミの廃棄を行う際は、手袋の着用を徹底する。

■作業を終えた後は、手洗いや手指消毒を行う。

(2) 実行委員及び関係者に対する感染防止策

① 当日までの健康管理

■健康を守ることを第一と考え、平熱と比べて高い発熱が認められる場合や体調が優れないと感じた場合には、実行委員長に報告の上、自宅待機とする。毎日の検温を含む健康観察を徹底し、本人のみならず、その同居する家族等の感染防止策も重要であることを周知する。

■2021 年 6 月 8 日付「新型コロナウイルス感染症に関連した学内の対応（公認欠席）等について」に従うこと。

■実行委員は、担当する関係者の緊急連絡先や大学までの移動経路を把握し、委員長へ提出すること。

② 練習、準備等

■実行委員は関係者に、練習、準備等の段階から感染対策を行う必要があることを周知する。

■交代制をとるなど、一度に参加する人数を最小限とし、クラスターが発生しないよう、密な空間の発生防止に努める。

■練習、準備で教室を使用する場合は、常時換気を行う。

■練習、準備中においてもマスクは必ず着用する。

■こまめな手洗い、手指消毒を徹底する。

■機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限する。

■機器、小道具や手すり、ドアノブ等の不特定多数が触れやすい場所の定期的な消毒を行う。

③ 大学祭当日

■同時に集合する人数をできる限り少なくするように努力するとともに、それぞれの催事が安全かつ円滑に運営できるよう工夫する。

■朝、自宅で検温を行い、37.0℃以上の発熱が認められる場合には自宅待機とする。

■マスク着用や公演前後の手洗い、手指消毒を徹底する。

■控室等はドア、窓の開放など可能な方法を用いて適切な換気を行う。

- 機材や備品・用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限する。
- 仕込み・リハーサル・撤去において、十分な時間を設定し、クラスターが発生しないよう、密な空間の発生防止に努める。
- 表現上困難な場合を除き、原則としてマスク着用を求めるとともに、十分な間隔（最低 1 m 以上）を取るよう努める。
- 出演者が使用する機器・小道具等、またステージ上の清掃・消毒・殺菌を行う。
- テーブル、椅子等の物品の消毒を定期的に行う。
- 終演後の面会を禁止するなど、来場者との接触を確実に防止する措置を講ずる。

#### ④ 大学祭後

- 帰宅時において、交通機関の分散利用を注意喚起する。
- 打上げなど、多人数、長時間の飲食は禁止する。
- 感染が疑われる場合には、保健所の聞き取り調査等に協力し、情報提供を行う。

### (3) 来場者に対する感染防止策

#### ① 大学祭前

- 事前予約制をとり、来場者の氏名、及び緊急連絡先の把握に努める。事前に把握できない来場者についても、入場前に記入場所を設けることで把握を行う。また、こうした情報は、感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを来場者に対し事前に周知するとともに、その場でも説明する。
- 特に、他の都道府県からの来場者や高齢者、及び既往症のある方など重症化リスクの高い入場者には、感染予防対策、注意事項等を周知する。

#### ② 入場時の対応

- 大学構内への入場においてはマスク着用を必須とする。未着用来場者に対しては実行委員による配布や販売等により着用を徹底する。着用していない場合、事情を確認し、合理的な理由がない場合に退場していただく。
- 以下の場合には、入場をお断りする。
  - 医療機関等で新型コロナウイルス感染症と診断された方
  - 保健所等の機関より本人又は同居者が濃厚接触者と認定された方
  - 感染を疑う症状がある場合等（息苦しさ、強いだるさ、高熱等の強い症状のいずれかがある方や、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く方）
  - 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある場合及びこのことに関連し、特定の場所での隔離・待機が必要である方

- 事前予約者に対し入場時間を設定し、時間差での入場、開場時間の前倒し等の工夫をし、必要に応じて、入場制限を行う。
- パンフレット・チラシ・アンケート等は手渡しによる配布は極力避ける。
- 感染が疑われる者が発生した場合は速やかに学生課に連絡し、学生課の指示に従う。

③ 大学祭後

- 日ごとに作成した来場者名簿（来場者の氏名及び緊急連絡先を記入）を、大学祭実行委員会に提出する。なお、来場者は、個人情報保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講じ、他の目的では使用しないことを説明する。
- 感染が疑われる者が発生した場合は速やかに学生課に連絡し、学生課の指示に従う。